

# 丁寧な英語が話せないの

## 会話上達法 第三部

先輩や上司などへの言葉遣いに細心の注意を要する日本語と異なり、英語にはいわゆる敬語はない。しかし、どんな相手との会話も同じ言い方でよいかというと、決してそうではない。

### 丁寧な表現も必要

#### 相手と状況を考えて

「hat time is it now?」(今、何時?)は、家族や親しい友人には使えるが、初対面の人や目上の者には失礼に当たる。一番無難なのは「Would you give me the time please?」「Could you help me?」(食事につき合ってくださいませか)など、応用が利く。「I have a ticket for the

「Would you not this Saturday?」(今、何時?)は、家族や親しい友人には使えるが、初対面の人や目上の者には失礼に当たる。一番無難なのは「Would you give me the time please?」「Could you help me?」(食事につき合ってくださいませか)など、応用が利く。「I have a ticket for the

「Would you not this Saturday?」(今、何時?)は、家族や親しい友人には使えるが、初対面の人や目上の者には失礼に当たる。一番無難なのは「Would you give me the time please?」「Could you help me?」(食事につき合ってくださいませか)など、応用が利く。「I have a ticket for the

「Would you not this Saturday?」(今、何時?)は、家族や親しい友人には使えるが、初対面の人や目上の者には失礼に当たる。一番無難なのは「Would you give me the time please?」「Could you help me?」(食事につき合ってくださいませか)など、応用が利く。「I have a ticket for the

「May I join you?」の方が「構わないでほしいか」の気持がこもり、ベターである。「ええ、どうぞ構いませんよ」は「No, I don't」。「たばこ吸っていますか」なら「Do you mind if I

「I'm sorry but...」(迷惑かけてすみませんが...)や「I'm sorry to...」(ごめんなさい)は海外で生活してみると、こうした敬語に相当する丁寧な言い回しの必要性を痛感させられる。日本語で「あなた」と「お前」は大違いだが、英語では同じ。「I



外国人との会話は、日ごろ勉強した表現を使う絶好のチャンス